

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語総合		単位数	2単位	履修学年	1年
目標	高校国語に慣れる。国語を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養う。それによって、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。読解能力を高めることにより、他者への共感をできる能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。					
使用教材	使用教科書 新国語総合 改訂版 教育出版					
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く能力)	(書く能力)	(読む能力)	(知識・理解)	
	観点・積極的に学習活動に参加できること。評価・授業の発問や提出物も評価の対象となる。	観点・論理的思考、心情を理解できる。評価・単元ごとの小テストで確認する。	観点・作文、短歌、俳句等に取り組むことが出来る。評価・作品の提出とともに総合的に評価する。	様々な時代の文体を、的確に読み取る。評価・単元ごとに、要約問題を小テストする。	観点・語彙の知識および修辞の理解を出来る。語彙力育成する教材を使用し小テストを行う。	
評価方法	定期考査および、各単元ごとの小テストを実施する。また、提出物は原則として得点化し、評価する。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	現代文 随想『言葉を友人に持とう』			・言葉の持つ魅力について学ぶ。重要漢字の書き取りをおこなう。単元終了後、小テストを実施する。		
	現代文 小説『星の王子さま』			・ファンタジーに親しみ、作品に託された筆者のメッセージを読み取り、人間にとって何が大切なのかを考える。単元終了後、小テストを実施する。		
	現代文 評論『学ぶこと思うこと』			・「学ぶこと」と「思うこと」の意義とその関係について理解する。筆者の論理展開の道筋を捉え、「学ぶ」ことと「思う」ことの重要性を理解させる。単元終了後、小テストを実施する。		
2	古文 『宇治拾遺物語』 - 「児のそら寝」			・歴史的仮名遣いとその読み方について学ぶ。50音図を理解し動詞の活用の種類を学ぶ。(小テストを実施する。)		
	古文 『徒然草』 - 「亀山殿の御池に」			・現代語訳の仕方について学ぶ。 ・形容詞・形容動詞の活用を学ぶ。 ・助動詞(過去・完了)を学ぶ。 ・係り結びの法則について学ぶ。 ・作者吉田兼好について調べ、レポートにまとめる。(得点化し評価する。)		
3	漢文 「漢文入門」			・漢文の文型を理解し、返り点の種類と用法について学ぶ。再読文字・助字について学ぶ。(小テストを実施する。)		
	漢文 「株守」・「矛盾」・「蛇足」			・音読を繰り返しおこなう。訓読文に直す。語句の意味を調べ、文章の内容を理解する。他の故事成語についてもプリントを作成し、意味を調べる。(辞書を使用。)(小テストを実施する。)		
学習上の留意点	・各学期、定期考査以外に小テストを実施し、単元ごとの理解度をはかりながら授業を進めていく。小テストの到達度が不十分と判断される生徒に関しては、補習をおこなう。					